



屋外広告物タウンミーティングを 開催しました！

群馬県 県土整備部 都市計画課

今回の特集では「屋外広告物タウンミーティング」について紹介します。屋外広告物タウンミーティングはH26年度から群馬県、屋外広告物条例を制定している市町村、群馬県屋外広告美術業協同組合の共催で毎年開催しており、今年で6回目の開催となりました。屋外広告物タウンミーティングは行政、屋外広告業者、地元の商店街関係者が「良い景観」・「良くない景観」を考える機会を提供するために開催しています。今年は国土交通省都市局の企画専門官である広田様を講師としてお招きし、屋外広告物の安全対策について講演いただきました。その後、実際に富岡製糸場周辺のまち歩きを行い、屋外広告物の現状と今後の課題について意見交換を行いました。

平成27年2月に札幌市で看板落下により女性が重傷を負う事故が発生しました。この事故をきっかけに、看板の安全性の確保が課題となっています。全国の看板落下事例などを踏まえながら、屋外広告物を取り巻く現状について、広田様にご講演いただきました。

古い店舗や空き家となってしまっている建物等に長年設置されている看板は老朽化し、落下の危険性が高まります。近年多発している自然災害に備え、定期的な点検・補修が必要となります。群馬県では強風が吹くこともしばしばあるので、安全対策は必ず行う必要があります。

看板はにぎわいを創出する重要な広告媒体ですが、一方で周囲の景観に大きな影響を与え、周囲との調和が求められます。看板から錆び汁が垂れていけば美観を損なってしまいます。加えて看板そのものの形やデザイン、素材に配慮して看板を設置することが重要です。そのような景観との調和という着眼点でまち歩きを行うことで、「普段気にしていないところが気になって新鮮だった。今後の見方が変わりそう」、「よく見ると危ない看板もあって、気をつけないといけないと思った」という意見もいただいています。

まち歩き後のワークショップでは行政、業者、広告主それぞれの観点から、今後の課題が多く出されました。熱い議論が交わされ、興奮冷めやまぬ中、タウンミーティングは閉会を迎え、各自が今後の課題を認識し、意識を高めることができました。



講演の様子



街歩きの様子



ワークショップの様子

